

大正十二年（1923年）九月一日午前十一時五十八分

関東大震災から九十年

平成25年
7月2日（火）～
9月29日（日）
午前9時～午後4時
藤岡家住宅内蔵2f



12階下のサロメ 平井宗一画

関東大震災が起きた大正十二年九月一日。藤岡長和は二十七歳。神戸市中山手通りの官舎に住居していた。

「九月、^{かん}關東地方大震災、父は（長和のこと）官房主事を兼務してゐたため震災地の救援に忙がしく、下旬、兵庫縣廳の見舞品を持って海路長崎丸により、東京、横浜の各地を慰問、月末東海道線の不通個所馬入川（^{まいり}神奈川県平塚市）、山北（^{やまきた}神奈川県山北町）などを徒歩^{れんらく}聯絡で神戸へ帰った。」藤岡長和著『^{るり}瑠璃』より

藤岡長和の手記をたどる大震災の記録

〒637-0016 奈良県五條市近内町526 ☎とFAX 0747(22)4013

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理 NPO 法人うちの館（やかた）